

現代日本論概論「現代日本における職業」東北大学 文学部 (2012年度 第4セメスタ)

## 第6講 企業の人事管理と労働者のキャリア

田中重人 (東北大学文学部准教授)

### 1 資本

#### 1.1 「生産」と「分配」をめぐる経済学的発想

経済学 (Economics).....希少な資源 (resource) を利用した生産とその成果の分配をあつかう

原料 + 生産設備 + 労働 生産物

問: 「原料」と「生産設備」のちがいは?

古典的な経済学では、生産設備のことを指して「資本」(capital) と呼んできた。

#### 1.2 人的資本と社会関係資本

現在の経済学 (および社会科学) では、「資本」という概念はより広い意味で使われている。

- 人的資本 (human capital) ..... (初回「予備知識の調査」参照)
- 社会関係資本 (social capital) .....他の人との人間関係

#### 1.3 一般的人的資本と特殊的人的資本

人的資本には、どこでも使える「一般的」(general) なものと、使える場所・場面などが限定される「特殊」(specific) なものがある。

特に、特定の企業でだけ使える人的資本を「企業特長的」(firm-specific) 人的資本と呼ぶ。

問: 企業特長的な人的資本の例として、どんなものがあるか?

### 2 キャリア論の基礎概念

#### 2.1 キャリア (career) とは

キャリアに関する研究は、経営学や産業心理学の分野でおこなわれてきた。

- (1) 組織のなかの出世コース
- (2) 生涯を通じた職業上の地位達成
- (3) 人生の諸領域における長期間の経歴

この授業では3番目の意味で使う。

## 2.2 キャリアにおいて獲得されるもの

- 地位 (status) ..... 序列的な階層構造の中の位置 ( 次回)
- 報酬 (reward) ..... お金、財産、権力、威信、名声
- 人的資本, 社会関係資本

これらを獲得していく過程のことを「キャリア形成」「キャリア発達」(career development) と呼ぶ。キャリア形成には、それまでの段階で何を獲得できているかが重要である。

## 2.3 キャリアの主観的側面

キャリアをどのように進んでいくかは、家族、学校、企業、政府などによってある程度の道筋がつけられている。しかし、最終的に進む方向を決めるのは本人である。

その人自身が自分の能力、適性、欲求、大切にすべき価値などをどのように意識しているか

「キャリア・アンカー」(career anchor) とは.....

## 2.4 人生の諸領域におけるキャリア

人生のあらゆる局面で、長期間にわたって参加するものについて、「キャリア」が存在する。「家族キャリア」「職業キャリア」「学校キャリア」「地域社会キャリア」など。

## 2.5 領域間の葛藤と調整

ある領域でのキャリアを追求すると、他の領域でのキャリアに悪影響を及ぼすことがある。

キャリア間の葛藤 ( conflict )

葛藤の起こる原因 ..... 資源の有限性

例: 授業に出ながらアルバイトをすることはむずかしい。どちらを優先するか?

ある領域で獲得したものが他の領域でも使える場合には、葛藤は起こりにくい。むしろ、相乗効果が発揮されて、両方ともうまくいくケースもある。

## 3 文献

- Becker, G. S. (1976) 『人的資本: 教育を中心とした理論的・経験的分析』(佐野陽子訳) 東洋経済新報社 .
- Schein, E. H. (1991) 『キャリア・ダイナミクス』(二村敏子・三善勝代訳) 白桃書房 .